

国内における COVID-19 は、令和 5 (2023) 年 3 月初旬現在、昨年末から今年の年始にかけて大きなピークとなったいわゆる第 8 波が幸いにも大きく減少してきている状況にあります。発生から約 3 年を経る間に、未知なことが多い感染症から、身近な生活上の注意・公衆衛生対策・医療の進展やワクチン/治療薬の出現、オミクロン株への変化等、その都度状況に合わせた対応の切り替えが行われ、そして段階的措置を取りながらも令和 5 年 5 月 8 日に 5 類感染症への移行が決定されたところです。しかし、感染症としての基本的な注意は当然必要で「社会の中での緩和=医療の中での緩和」では決していないということも、多くの方に理解をいただきたいところです。COVID-19 は依然として高齢者にとってリスクの高い呼吸器感染症であり、小児の感染者も増加するなかで、熱性けいれん、急性脳症、急性心筋炎、MIS-C あるいはいわゆる後遺症 (long COVID)、そしてワクチンの使用方法についての議論など、小児科分野として取り組むべきことはむしろ多くなっているように思います。

さて、本号の特集は「小児循環器疾患——最近の話題」として、COVID-19 と CHD、小児心不全の治療、小児肺動脈性高血圧の治療、カテーテル療法、

移植医療、再生医療などについて、一般の小児臨床の中で知っておくべきこと、現状の治療と最先端の治療、そして今後のことなど、小児循環器分野の第一線におられる先生方に寄稿いただきました。

目で見ると小児科は「唾石による反復性顎下腺腫脹を生じた 6 歳女児」の CT 像、トビックスの「併存疾患を含む小児の ASD、AHD 例における WISC-IV のプロフィール分析」「RSV による死亡と重篤な肺合併症」、経験として寄稿いただいた「腸重積症と感染性胃腸炎」「エビペン® 処方例のまとめ」はいずれも長期にわたる多くの事例の綿密な観察分析の結果をまとめたものです。症例は「不思議の国のアリス症候群の 2 例」(この病名は恥ずかしながら私は初めて知りました)「新生児同種免疫性好中球減少症」、などについて紹介をしていただきました。いずれも小児の診療に密接な話題として興味深く拝読し、またご一読いただくことを強くお勧めします。

本号がお手元に届く頃は、幼稚園や学校などの卒業式シーズンかと思います。それぞれが新たなステップを踏み出し、健やかに育っていつてくれるよう、見守っていききたいと思います。

(岡部 信彦)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄 (ABC 順)

小児科

第 64 巻 第 3 号 3 月号

2023 年 3 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 3,190 円 (本体 2,900 円 + 税 10%)

年間購読料金

定価 48,950 円 (本体 44,500 円 + 税 10%)

[年間 13 冊 (増刊号、増大号を含む) の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料で]

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03(3811)7165 [雑誌部直通]

Tel 03(3811)7184 [営業部直通]

Fax 03(3813)0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。